

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和6年度）2024

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	12	14	土	8:30	13:00	につきい堀込市民の森	6名
活動名称	一二三富の会 につきい堀込市民の森門松教室					報告者：吉井 優	

1、活動目的

2015年から実施している一二三富の会門松教室が今年も開催されました。我々の友好団体である坂戸のNPO法人一二三富の会から援助依頼があり、応えたものです。我々のイベントにも一二三富の会から協力者を派遣してもらっています。近隣の様々な友好団体と交流することは、我々の活動を広げてくれ、我々の参考になることもあります。

2、活動内容ほか

一二三富の会は、前日から入念に準備し、イベント開催につなげることが、鶴ヶ島と異なるところです。開催当日も、7時半に会員が集合し、準備作業を初めていました。12月14日は、風が少し強かったですが、朝から晴天に恵まれ、絶好のイベント日和となりました。我々外部スタッフは、8時半ごろから合流し、準備に加わりました。門松作成は、参加者を3組ずつチームに分け、各チームにスタッフが指導するスタイルで実施されました。私と柳川さんは、2チーム担当し、しんどかったです。作り方は、鶴ヶ島と同じですが、竹の中央を縛る縄をシュロ縄にしていることが異なります。

12時頃すべての作業を終了し、参加者と、スタッフの写真を撮り終了しました。その後スタッフは、弁当をいただき、スタッフが自分の分の門松を作り、解散しました。

3、評価：

33組参加となりました。海外の方も参加しており、みんな楽しく門松づくりに励んでいました。鶴ヶ島も募集開始1日目で定員となり、坂戸も、鶴ヶ島も人気のあるイベントですので、竹の有効利用により竹林整備が進むと考えられます。地域の多くの団体で門松教室が開催されることを願います。

4、課題

昨年と同じ提言ですが、一二三富の会も高齢化が進み、イベントのスタッフを充分確保できない状態とのことです。

それに反して、プレーパークや門松教室の認知度が上がり、リピーターが増えており、参加者が増えている印象があります。鶴ヶ島も、一二三富の会や地域の団体に、協力を依頼して、イベントを開催していますが、坂戸も友好団体と協力しないと、イベントが成立しなくなるようになりつつあります。団体の高齢化は、避けられないことですので、お互いに協力して、活動を続けていきましょう。

<里山参加会員>

吉井、柳川、井上（木部）（吉富）（田中）（ ）は別組織名で参加

<活動写真>

